

京都市バイオマス産業都市構想の概要

京都府京都市，人口 147 万人，面積 8.28 万 ha

構想の概要

豊かな森林資源，伝統文化，進取の気性など，京都のまちがもつ「市民力」や「地域力」を結集し，「自然環境と共生してきた文化，こころ」を大切にしながら，バイオマスの活用を積極的に推し進め，「環境にやさしく災害に強い低炭素社会・循環型社会」の構築を目指す。

1. 将来像

- ① 農林業の振興と北部山間地域の活性化
- ② 都市部のバイオマスの有効利用
- ③ 先端技術を活用した廃棄物系バイオマスのエネルギー利用

2. 事業化プロジェクト

- ① 食の循環プロジェクト
- ② バイオガスプロジェクト
- ③ 下水バイオマス活用プロジェクト
- ④ せん定枝の分別・リサイクルプロジェクト
- ⑤ 「都市油田」発掘プロジェクト
- ⑥ バイオディーゼル燃料プロジェクト
- ⑦ 森林バイオマス活用プロジェクト
- ⑧ 先端技術連携プロジェクト

3. 目標

京都市内に存在するバイオマスの利用の度合いを示す「バイオマスの総利用率」を，平成 26 年度の 49%から平成 32 年度には 55%まで高める（京都市バイオマス活用推進計画の目標達成に向け，具体的に事業を推進）。

4. 地域波及効果（基準年度：平成 26 年度）

- ・ バイオマスのエネルギー利用による 電力：約 6,000MWh/年
化石燃料代替量の増加（平成 32 年度） 熱量：約 144,000GJ/年
- ・ 廃棄物焼却量の削減（平成 32 年度） 約 16,000 t/年
- ・ 間伐材利用量の増加（平成 32 年度） 約 4,000 t/年
- ・ 売上及び歳入の増加（平成 29～32 年度） 約 7 億円

5. 実施体制

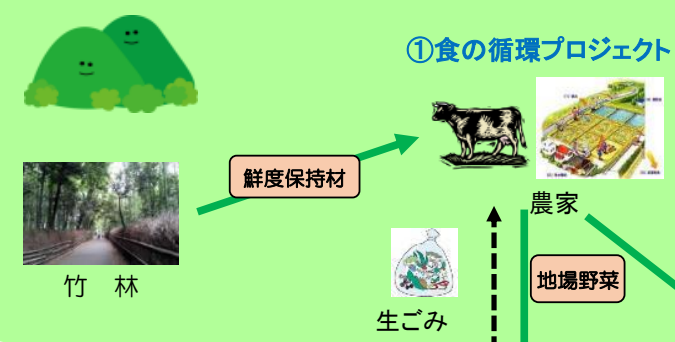
- ・ 各事業化プロジェクトは，本市及び民間事業者等の実施主体が中心となっていく。
- ・ 本市が各プロジェクト事業の進捗状況をヒアリング調査し，必要に応じて京都市環境審議会等に報告するとともに，意見や助言を受けて事業推進に活かす。

6. その他

「京都市基本計画」，「京都市地球温暖化対策計画」，「京都市エネルギー政策推進のための戦略」，「京都市循環型社会推進基本計画」等との連携・整合を図りながら，「京都市バイオマス活用推進計画」に基づく実施プログラムとして，バイオマス産業都市の実現を目指す。

京都市バイオマス産業都市構想

① 農林業の振興と北部山間地域の活性化

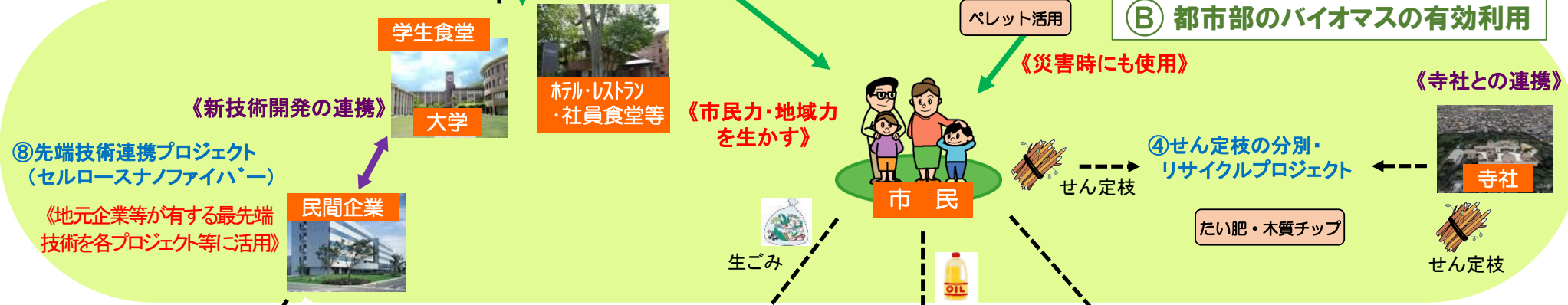


⑦ 森林バイオマス活用プロジェクト

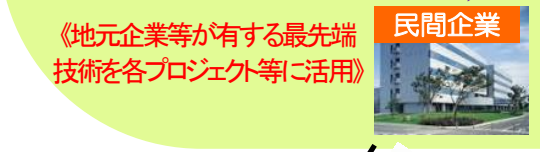


《観光業界, 大学等との連携》

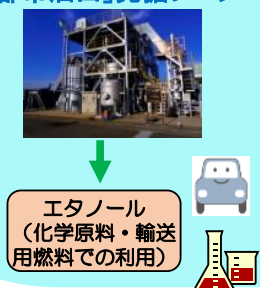
⑧ 都市部のバイオマスの有効利用



⑧ 先端技術連携プロジェクト (セルロースナノファイバー)



⑤ 「都市油田」発掘プロジェクト



② バイオガスプロジェクト



⑥ バイオディーゼル燃料プロジェクト



③ 下水バイオマス活用プロジェクト



⑨ 先端技術を活用した廃棄物系バイオマスのエネルギー利用

